

スタンド
使い HOMURA
JOJOKA
STETAUROA

ほむら☆ジョジョ力



第一話
「やれやれだぜ」

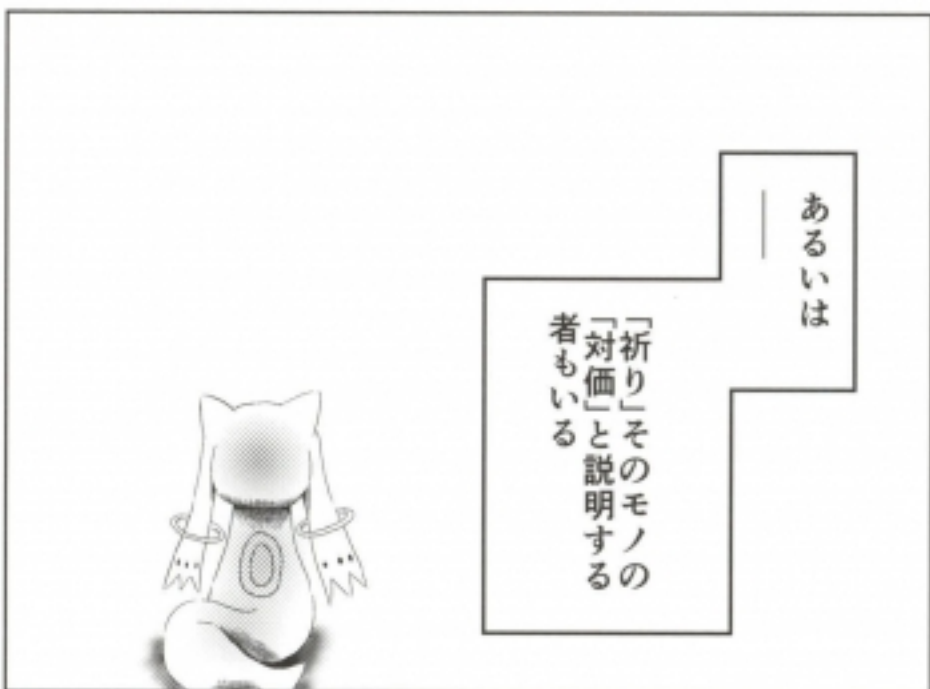


その始まり

「呪い」とは

ある人に言わせると
憎しみや恨みによって
災い起きることへの
「祈り」と説明する

これは「呪い」を解く
物語



あるいは

「祈り」そのモノの
「対価」と説明する
者もいる

だがとにかく
いづれのことだが
「呪い」は
解かなくては
ならない

さもなくば
「呪い」に負けて
しまうか……

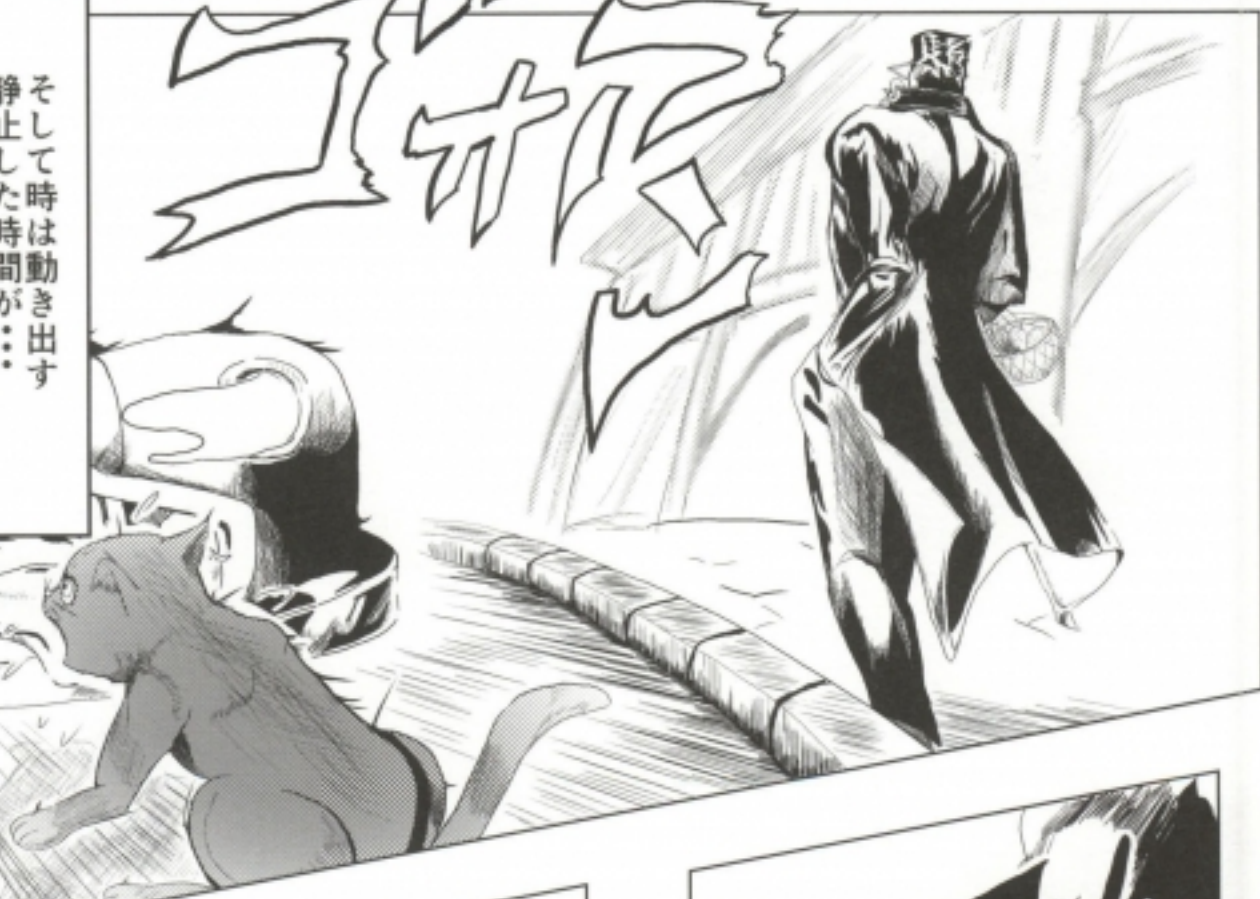


「何巡目」か忘れたが
私は「彼」と出会った



そして時は動き出す
静止した時間が……
……という意味ではなく
「今」から「未来」へと
いう意味で……

ゴキウ



これは「呪い」を解く
物語――

そして――
「奇妙な交差」の物語



第一話

「やれやれだぜ」







なッ：…なんなの
この男はッッ!?!
とてつもない『スゴ味』
を感じるッ

ちと聞きてえんだが…



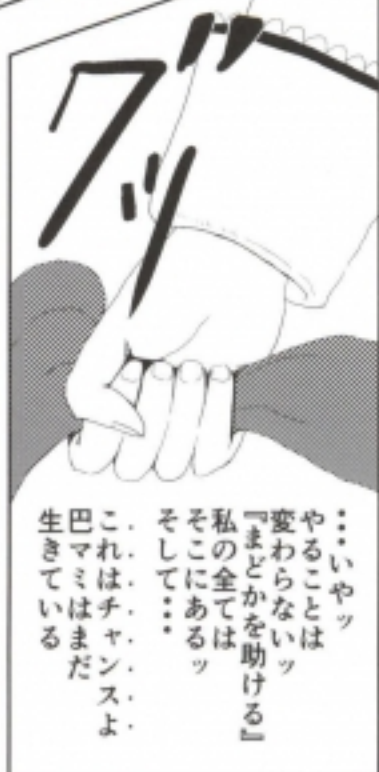
ここは病院の施設…
じゃあねえよなア
ちよつびり迷っちゃった
みてえだぜ…
ここがなんなのか
知らねーか?



さっきの手もこの男の
仕業なの…?
初めてのパターンだわ
どうするッッ!?



巴さんを
助けることだッ



…いやッ
やることは
変わらないッ
『まどかを助ける』
私の全ては
そこにあるッ
そして…
これはチャンスよ
巴ミはまだ
生きている

この男が気にはなるが…
今ッ
私の成すべきことは
まどかの為にも…

助かったわ
ただ……
悪いのだけれど
説明している
時間がないの

クルッ

あなたは来た道を
戻って頂戴……
綱渡りをするように
慎重にッ



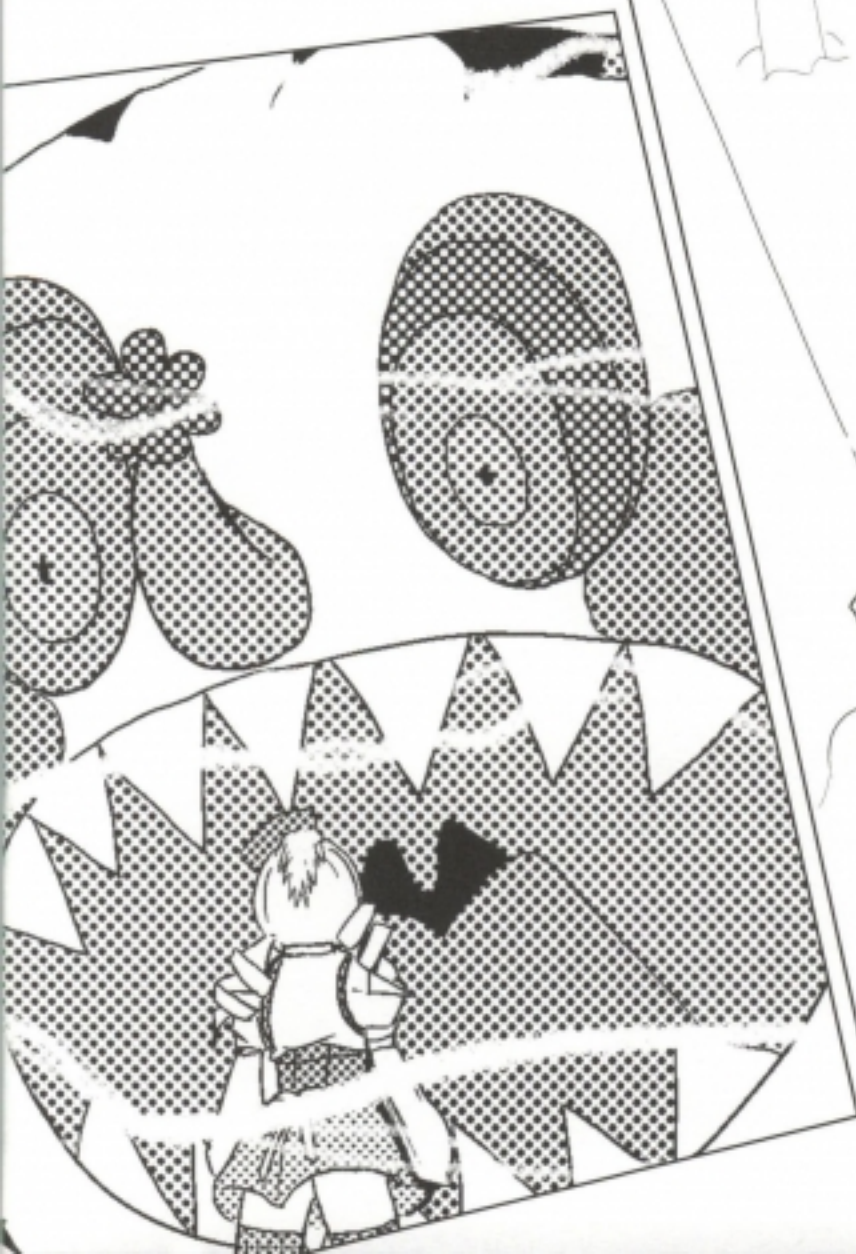
……行っちゃまいがった

あいつもスタンド使い
……なのか?

まあ……
とりあえず色々
知ってはいるみてーだな







見つけたッ

もう魔女が
寸前の
トコまで！！

「詰み」……
イ・ヤツ
ま・だ・だ・ツツツ！！

あと「2秒」ッ！

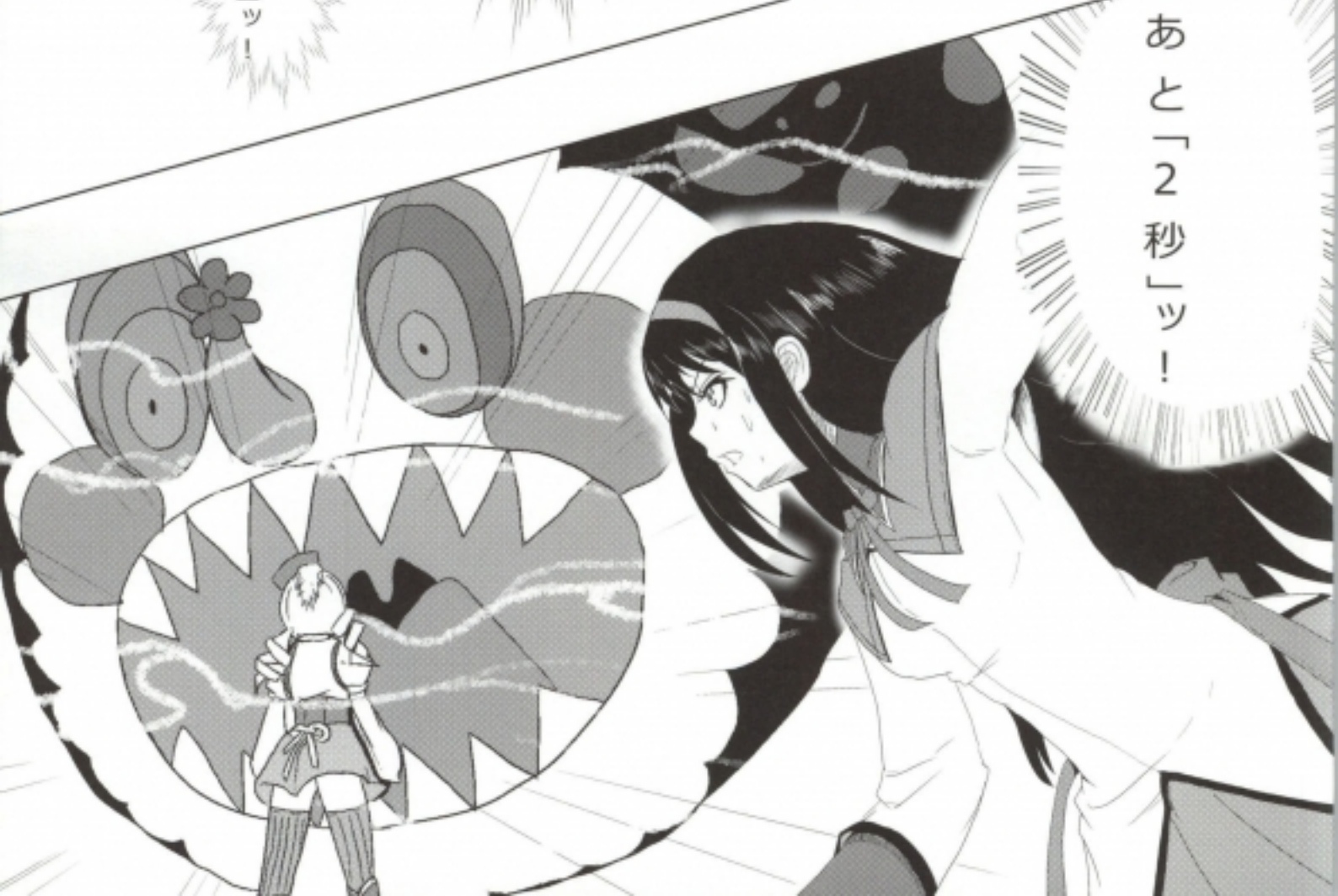
あと
「4秒」ッ！

このまま助け
られなければ
再び時を止める暇はないッ！

停止している間に
助けなくてはッ！

あと
「3秒」ッ！

時が動き出したら
全てが終わるッ！





あと少しッッ
あと「一手」なのッッ

ちよいと掴んで
引っ張るだけで
いいのッッッッ

「0秒」ッッ……
時が…動きた…



「1秒」ッ!



ド
オ
ン
ン



「スター
プラチナ
ザ・ワールド」

時が…
止まっているッッ
私じゃないッ!

俺が時を止めた

ズッ

おまえの
時間切れと
同時にな…

グッ
イッ
イッ

そして
「二手」間に
合ったようだな

やれやれ…
俺じゃ「二手」が
限界だぜ

この男はさっきのッ?
いっ一体なんなの…
何が起きているの…

「そして時は動きだす」

ババ
カツ
カツ!!

ああ
ああ
食われるな

何をしているのツ!!
そのままじゃ
食われるわツ!

カップケーキを平らげる
ようにペロリと
一口だろうぜ



ガクランの人が
食べられた——ッ!!

あ、あの
その……

イタ?



あ……あぁッ……

こ……
この声は!?

だんだん
近づいて
来るような!

オラ……

オラオラ……

……オラオラ

オラ

遠くから
聞こえてくるような
……

オオ……オオ
……オラ

何か聞こえて
くるのだけれど……

ゴゴ……
オ……オオ

オオオオ
オオオオ
キガゴゴ

ヤッパッパッパッ

オオオ
オオオ
オオオ
オオオ
オオオ
オオオ
オオオ
オオオ





まアそれなりに
硬かったが
俺を噛み砕くには
ちとカルシウム不足
だったな...



ところで・・・だ
人をバラバラに
噛み砕こうとしてた
ならよー

逆にバラバラに
されても文句は
ねーよなアッ・・・!



オラオラオラ
オラオラオラ
オラオラオラ
オラオラオラ
オラオラオラ

オラアア
アアアア



やれやれだぜ

炎
ア
ア
ア





ま、魔法少女でもないのに
魔女を倒してしまった…
あまつさえ時間停止すら
できるなんて…
一体なんなの…
あの男は…？



…まさか
こんなところで
出会うとはね

えッえエーッ？
ママさんが食べられ
ちゃったと思ったら
ほむらちゃんがいる
男の人が魔女から出てきて…
わけわかんないよオオオーッ

あのニーチャン
知ってんの？
キュウベえッ




知っているよ…
自らの魂を変質させ
その魂の理によって
条理を覆す存在

彼は



「スタンド使い」だ

← To Be CONTINUED

The background features a stylized illustration of interlocking gears in various shades of purple and blue. A hand holding a pencil is visible on the left side, appearing to be part of the gear mechanism. The overall aesthetic is mechanical and artistic.

これは「呪い」を解く物語――

――そして「奇妙な交差」の物語

Presented by
沼の水槽